

全国病児保育協議会のホームページ <http://www.mukaida.or.jp/byouji/>



病児保育協議会ニュース



健やか親子 21 推進協議会への参加を

全国病児保育協議会会長 藤本 保

今年は例年になくインフルエンザの流行がありませんでした。一方、ハシカの流行が何年か振りにあり、水疱瘡、おたふく風邪も加わり、暇なわりには病児保育室での部屋のやり繰りや感染防止には苦労しています。皆様の地域では如何でしたか。

去る3月7日、厚生労働省になって初めて雇用均等・児童家庭局母子保健課を訪問し、当協議会としての要望を行って来ました。その中で監督官庁として施設の視察を行い、優秀な施設には表彰を、問題のある施設には指導を行って頂きたい旨を申し出ています。要望事項に対する回答は別項に示されていますので、ご意見があればご連絡ください。大きな収穫は、医療機関併設施設に限る制度なのですが、施設整備費が補助されるようになることです。

我々としては、病児保育事業に携わる全施設の質が向上するよう、種々の事業を企画運営することと

認識しています。その中でもとりわけ研修会は今後さらに充実させねばならないと思っています。ところが、本協議会に加盟していない乳幼児健康支援一時預かり事業補助受託施設が増えています。今までも何度か入会案内を行っているのですが、未だ効果が現れていません。皆様からも入会を進めて頂き、共に研鑽を積むことを呼びかけてみて下さい。

地域で民間の活力を結集し具体的活動を展開させる「健やか親子 21」のことはご存じのことと思います。この運動を推進させる健やか親子 21 推進協議会への参加募集があり、全国病児保育協議会としても参加したいと思います。これには取り組むべき4つの主要課題がありまして、「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」が該当すると思っています。今度の総会に提案しますのでご審議お願い致します。

第6回施設長・主任研修会のトピックス

全国病児保育協議会研修委員長 向田 隆通

第6回全国病児保育協議会施設長・主任研修会が開催されます。

今年から施設長研修会は施設長・主任研修会と名前を変えました。今までも施設長の代理として主任等の方が出席なさっていたと思いますが、初めての参加の方々にも分かりやすいように変更いたしました。

今年の基調講演には、「なぜ、病児保育が必要か - 子どもの心、親の心 - 」と題して、今さらという感じを受けるかもしれませんが、青山学院大学 庄司順一先生にご講演をいただきます。遅々として市民権を得られない病児保育ですが、最近の子育ての親子の心の問題に触れて頂いて、病児保育の必要性を改めて認識できればと思います。

パネルディスカッションでは、「市町村及び医師会との連携」というテーマで、3カ所の施設より発題をいただき、助言者に新潟市の保育係長も出席され、色々な立場の良く機能している地域からの情報をいただきたいと思っています。

特別講演では、厚生労働省母子保健課よりご出席いただき、「行政報告」と質疑応答を行っていただきます。特に質疑応答は十分に時間をとれるように配慮いたしました。思いっきり問題点・要望等をぶつけていただきたいと思っています。



第6回施設長・主任研修会・第11回総会開催要項について

日時：平成13年5月19日(土) 20日(日)

場所：オオサカサンパレス

第1日目 5月19日(土) 第6回施設長・主任研修会	
13:00 13:10	開会あいさつ 全国病児保育協議会会長 藤本 保 基調講演 「なぜ、病児保育が必要か - 子どものこころ、親の心 - 」 講師：青山学院大学 座長：(医)保坂小児クリニック 教授 庄司 順一 理事長 保坂 智子
14:15	パネルディスカッション テーマ 「市町村及び医師会との連携」 発題 1) 四日市市病児保育室カンガルーム 二宮 剛美(三重県) 2) 早良部病児デイケアルーム 松本 寿通(福岡県) 3) きらら保育園病後児保育室 森田 倫代(横浜市) 座長：みやた小児科院長 宮田 章子 助言者：都立母子保健院院長 帆足 英一 : (医)保坂小児クリニック理事長 保坂 智子 : 新潟市市民局保健福祉部保育係長 松崎 義春
16:15	休憩
16:30	特別講演 テーマ 「行政報告」 講師：厚生労働省母子保健課より 座長：全国病児保育協議会 会長 藤本 保
18:00	休憩
18:30	懇談会
20:00	常任協議委員会《関係者のみ》

第2日目 5月20日(日) 第11回全国病児保育協議会総会	
9:00 12:00	総会議事 会長あいさつ 事業報告・会計報告 次年度事業計画・予算案 その他 閉会

各会場案内

< 5月19日(土) >

- 16:00~18:00 講演会・・・・・・・・・・北玄関左側オオビットホール
- 18:30~20:00 懇談会・・・・・・・・・・北玄関左側オオビットホール
- 20:00~21:00 常任協議委員会・・・・・・・・2F いちょう

< 5月20日(日) >

- 9:00~12:00 協議会総会・・・・・・・・・・2F 月光

特 **厚生労働省雇用均等・児童家庭局を訪問して** **集**
 全国病児保育協議会事務局

厚生労働省雇用均等・児童家庭局
 母子保健課長からの回答

3月7日、病児保育協議会の藤本会長及び保坂智子名誉会長、野澤良美副会長の3名が厚生労働省を訪問し、藤崎母子保健課長と約2時間の対談が行われました。この対談では、「協議会としての要望については快く受け入れ、その実現に努力する」といった姿勢が全体的に強く印象づけられました。対談の要旨は以下の通りです。

要望1. 市町村によっては、13年度の予算措置がなされていないとの理由にて、受託施設への委託費用(の実施費用)を減額するということも見られるが、市町村に対して適正に委託費を実施施設に支払うように、指導徹底していただきたい。

回答1. 市町村に文書で示しているが、その通りに実施されることを信じていて、そのやり方で特に違反ということではなければあまり強くは言えず、自治体の自主性を重んじている。

要望2. 施設整備費並びに初度調弁費についての補助を実施していただきたい。

回答2. 13年度から医療施設等設備費が恒久的に補助される。(一時預かり事業の施設を造る時、市町村から補助される)

要望3. 本事業に関わる嘱託医手当てについて別途の補助を実施していただきたい。

回答3. 補助金の中にすでに含まれている。さらに考慮し、検討する。

要望4. 本事業に携わる職員の研修費補助を予算化していただきたい。

回答4. 今後検討する。

要望5. 本事業を有効に活用するために、広報活動の1つとして、各市町村に対して、母子健康手帳に実施施設を紹介する等の積極的な広報活動について、指導強化していただき

たい。

回答5. それぞれの市町村にひな型の紹介は可能である。皆様からも各自治体に申し入れてみて下さい。

要望6. 複数市町村が共同して本事業を実施する際の留意点等、例示的な指導を都道府県並びに市町村に行っていたideきたい。

回答6. 市町村から相談があれば、具体的なことについては指導を行っていく。

要望7. 本事業を受託する施設に対しては、医療機関(法人格を有する病院・診療所、個人病院・診療所)や保育所・乳児院等の児童福祉施設等の付帯事業としての税法上の位置づけを明確にしていきたい。

回答7. (明確な回答はありませんでした。)

要望8. 所管課として、実施施設の視察等を行い、事業の質の向上、改善等に向けて引き続きご努力いただきたい。

回答8. 是非そうする。病児保育協議会にもどういう所を視察したらよいか推薦してほしい。

要望9. 当協議会は、実施施設の質の向上に向けて年2回の研修会、病児保育マニュアル編集等を中心に努力しているところであるが、実施に関わる都道府県市町村との協議に際しては、直接・間接的に実施施設が協議会へ入会するように勧奨していただきたい。

回答9. 民間団体に対して公に勧めることはできないが、本協議会の紹介はできる。

要望10. 今後とも、補助額の増額等、円滑な本事業の発展に向けてご尽力いただきたい。

回答10. そのように努力していく。

施設整備費並びに初度調弁費についての補助や、今後の乳幼児健康支援一時預かり事業の方向性については5月の施設長研修会で詳しくお話いただけるよう、お願いをしてみました。

どうぞ、研修会をお楽しみに!

厚生労働省の乳幼児健康支援 一時預かり事業実施施設視察報告

あおぞら病後児保育室さくらんぼ 理事長 井崎和夫

この4月13日、岩田喜美枝厚生労働省雇用均等・児童家庭局長等5名の方が、乳幼児健康支援一時預かり事業の施設視察ということで来園されました。

まず地域子育て支援センター（国の交付金で作りました30㎡の可愛い建物です）にお通しし、説明・質疑応答・懇談後、園内を見て頂きました。

まず私から、乳幼児健康支援一時預かり事業の現状を、全国病児保育協議会のホームページのデータを引用させて頂き、ご説明申し上げました。神奈川県には、川崎市のエンゼル多摩、横浜市の（平成12年度より）2園はありますが、いずれも政令指定都市なので、正式には神奈川県下にはなく、今年度も1カ所の計画すらないこと。市町村も医師会も保育所もこの事業を十分理解されていないこと。逆に、本園は半径2kmの円周上に市民、労災、済生会病院があり、保育所利用者に医療関係者および教員が多く、理解が得やすく、利用者が毎月伸びていることをお話しました。ついで、保育士より月別、疾患別、保育所別等の統計の説明を、子育て一般については、園長から説明致しました。

局長は「私も二人の子どもを保育園に預けて働いた。あの頃、このような施設があったらどんなに助かったでしょう。きっとリピーターが増えますよ。」という言葉に、雰囲気もなごみ、話が弾みました。

質問は「受け入れの時、または保育中に発熱があった時は？」「病後児保育の利用者がいない時、看護婦や保育士の業務は？」「他園から来たりして慣れない子どもの対応は？」「地域子育て支援センターは何をしますところですか？」等。

ちょうどこの日は利用者ゼロで、当園自慢の病後児保育室を十分ご説明し、「こうすれば隔離室になります」と局長等を隔離してしまいました。その後、保育所内をご案内しました。木を存分に用い安全を配慮した作りに、当園を紹介した横浜市当局も満足気でした。それにしても十分な運営費が望まれます。



地域子育て支援センターで懇談。



あおぞら病後児保育室を視察する岩田喜美枝厚生労働省雇用均等・児童家庭局長

視察に来園された方々

厚生労働省から

岩田喜美枝（雇用均等・児童家庭局長）

水田邦雄（審議官）

浅田千穂子（調査官）

田口雅之（母子保健課予算係長）

峯岸とも子（書記）

横浜市から

浅井規夫（横浜市福祉局児童福祉部次長
保育推進課長）

佐々田賢一（保育係長）

小野寺伸子（保育推進課）

病児保育室訪問12

あおぞら病後児保育室 さくらんぼ

平成12年12月に開室したばかりの「保育所併設型」の施設です。本園(定員120名)の待機児童が多いので、数年前から分園の計画を考えておりました。

理事長の有床診療所の空室を利用して、低年齢児の保育所を考え、あわせて医療機関併設型の病児保育室も、と平成10年頃から具体的に横浜市と折衝致しました。

しかし横浜市は人口344万の大都市で行政区も18区あり、日本一の待機児童を抱えている都市にも関わらず当地区には整備は考えていないとの回答でした。しかし、地域のニーズは根強く、独力での建設を決意致しました。経営上のことを考えると医療機関併設では、運営上問題があり、医療機関を廃止することに決意致しました。

平成11年、国は「少子化対策臨時特例交付金事業」を策定、横浜市に59億円が交付されました。また設計段階で平成12年度から乳幼児健康支援一時預かり事業に「保育所併設型」が追加され、私どもの計画が横浜市のモデル事業として取り上げられました。そして「保育所併設型病後児保育室」を設けた「あおぞら第2保育園(定員30名)」を開設することになりました。

昨年12月からと歴史は浅いのですが、理事長は早くから病児保育の必要性を説き、昭和42年に「ナオミ方式(バンビ病児予後保育室)」で開室直前までこぎつけたのですが、時期尚早、実現に至らなかった経緯がございます。

病児保育室は病児の出入口は一般と別個に設けられており、職員が前室で隔てられた病児保育室に入室するには、事務室を通らなければなりません。病児保育室部門は全体が「陰圧化」されており、絶えず新鮮な空気が送り込まれております。空調も別系統、大きく4ブロックに分けられる各部屋は、どの部屋も必要に応じて隔離室となるのが特徴です。

<施設紹介>

施設名 あおぞら病後児保育室 さくらんぼ

代表者 理事長 井崎和夫

住所 〒221-0802

横浜市神奈川区六角橋二丁34-8

社会福祉法人あおぞら

あおぞら第2保育園内

電話 045-413-1114

FAX 045-413-0968

開設日 平成12年12月11日

定員 4名

対象年齢 生後57日～6歳(就学前)

職員数 常勤看護婦1名 保育士1名(利用者数により2～3名充当)



あおぞら病後児保育室の外観。とんがり屋根がかわいいですネ



手厚い保育看護で子どもたちも安心して過ごせます

手作りおもちゃ

こぐま学園 子どもの家

福岡県小郡市大板井字井尻 1143- 1

理事長 大熊 猛

当園も、手作りで色々な年齢の子どもや興味にあわせて遊びが発展するよう身近な材料に工夫や思いを込めて、清潔・安全面に配慮しながらおもちゃを作り、病気の子どもの緊張を柔らげる大切なアイテムとして活用しています。そのいくつかをご紹介します。

ハンドボール・・・新聞紙を棒状にし写真のように組み合わせビニールテープでくるくると巻き鈴をつける。



〔事例 : 10 ヶ月児Tちゃん〕上気道炎で微熱程度のTちゃん。弾力性があり弾むので、転がしても楽しい動きをするボールが気に入り、丁度握りやすい棒状のところをつかんで鈴の音を楽しんだり、投げてはハイハイで取りに行き何回も繰り返しては楽しんでいました。テープでコーティングしている為オスバン液で拭き、消毒することができるので清潔に使用できます。

玉入れ・・・大きな厚手のダンボールを4面にし立てられるようにし、キャラクターの口の部分に穴を開け、後面に大きな袋を取り付け、カラーボールで玉を入れます。口の大きさが難易度が変わり、投げる距離により幅広い年齢で楽しめます。



〔事例 : 4歳児Rくん〕流行性耳下腺炎で外に遊びに行けないRくん。隔離室で不満気でしたが、大好きなキャラクターにちょっと興味をひかれ、玉が入ると、裏側に待機している職員がワオーとビニールごしに口から手を出してくるのに大喜び。目を輝かせて遊びすっかりご機嫌になってくれました。

この他、空き箱で作る玉つきゲームや、お弁当に入っている魚の形の醤油さしに、絵の具の色水を入れたカラフルな金魚を洗面器に浮かべた金魚すくい。又、牛乳パックを立方体にカットし中に新聞紙や音色の異なる鈴を入れカラフルな色画用紙で包み、色々な動物の顔を貼りつけた音のでる積み木も好評でした。市販のおもちゃで味わえない心の交流をもたらしてくれる手作りおもちゃを今後もいろいろ工夫し、病気でも楽しく、安心して来れる保育室をめざし、心のこもった病児保育を行っていきたいと思っています。

「全国病児保育協議会入会のご案内」が新しくなりました!

今年度から、当協議会の入会案内がA3カラ - 版となりました。会長の挨拶文と共に協議会の活動も掲載し、写真やイラストを入れたより魅力的なものになりました。

平成 12 年度末現在で、協議会に未入会の施設があることが確認されています。病(後)児保育事業の発展を願って、厚生労働省に要望書を提出していく

ためにも、全ての施設が入会することが望まれます。近隣にある未入会の施設やこれから病(後)児保育を始めようとされている施設に、是非、この「入会のご案内」のパンフレットをお配りして、入会をお誘いください。

(* 入会案内がお入り用な方は、事務局までご連絡ください。)



- 新規加入の全国病児保育協議会施設 -

- 116 病児保育室 よいこのもり
 理事長 佐藤 勇
 〒950-0983
 新潟市神道寺1丁目5番47号
 よいこの小児科さとう
 TEL : 025-290-2030 FAX : 025-242-2523
- 117 三愛小児科診療所
 代表者 宇野 正章
 〒520-3024
 滋賀県栗東町小柿六丁目10番37号
 TEL : 077-553-6656
- 118 佐々木クリニック ひよこハウス
 理事長 佐々木 榮一
 〒191-0062
 東京都日野市多摩平1丁目8番地の10
 TEL : 042-585-2755 FAX : 042-585-2704
- 119 青梅ゆりかご第二保育園
 病後児保育室「かりん」
 代表者 松尾 ユミ
 〒198-0042
 東京都青梅市東青梅5-22-2
 TEL : 0428-24-4455 FAX : 0428-24-9655
- 120 からまつ保育園病後児保育室
 からまつキッズウイングルーム
 代表者 篠崎 辰子
 〒193-0801
 東京都八王子市市川口町1543
 TEL : 0426-54-3377 FAX : 0426-54-3939

- 121 社会福祉法人みろく会明星保育園
 病後児保育室プーさんルーム
 代表者 澤口 由加里
 〒031-0822
 青森県八戸市白銀町字浜崖13-2
 TEL : 0178-32-4515 FAX : 0178-32-4516
- 122 吉井小児科病児園
 代表者 吉井 理
 〒885-0015
 宮崎県都城市千町5260-3
 TEL : 0986-22-3285 FAX : 0986-22-3312
- 123 医療法人愛仁会あいわ診療所
 代表者 吉新 祥一
 〒665-0874
 兵庫県宝塚市中筋2丁目10-11
 TEL : 0797-80-4170 FAX : 0797-80-4172
- 124 社会福祉法人惣栄会 ひよこ保育園
 理事長 山本 巖
 〒883-0021
 宮崎県日向市財光寺4625-3
 TEL : 0982-54-5508 FAX : 0982-54-5509
- 125 病児保育室バンビ
 代表者 増田 宏
 〒735-0021
 広島県安芸郡府中町大須3丁目8-56
 ますだ小児科
 TEL : 082-508-2323 FAX : 082-508-2324

これ以降の加盟施設は8ページに掲載しています。

感 染 症 情 報

**感染症対応に万全の体制で
 病児保育室プチポケット
 松川武平先生**

私のクリニックでは最近、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）が流行っています。病児保育室にも時々流行性耳下腺炎の患者さんの利用があります。ポピュラーな病気ですが、その怖さは今のお母さん方にはあまり知られていないのが事実のようですので、この場をかりて簡単に説明をしておきたいと思います。

流行性耳下腺炎は初めの5～7日間耳の下、顎の下が徐々に腫れが強くなり、その後徐々に減少し、完全に消失するまで集団生活ができない病気です。治癒し集団生活ができるようになるのに10～14日掛かりますので家族への影響はおおきいのです。40℃を超える高熱が長く続く事もあります。また髄膜炎を起こし入院しなければならなくなったり、膵炎を起こしお腹が痛くなったり、大人が罹ると不妊症になったり、ごくまれで

すが難聴になったり時々合併症が問題になります。難聴になると当然一生の問題となりますのでその影響は大きな事になってしまいます。

流行性耳下腺炎に効く薬はありません。自然経過で治る病気なのですが、経過は比較的長く、就労しているお母さんはやきもきされる事が多いようです。合併症が起こりうる事を考えると、予防接種で予防すべきと考えます。以前はMMR ワクチン（麻疹・おたふくかぜ・風疹混合ワクチン）がりましたが、残念な事に現在は廃止されていますので、おたふくかぜワクチンを任意で行わなければなりません。有料ですがぜひ行って頂きたいと思います。日本は予防接種後進国です。積極的に行い予防出来るものは予防する事が大切です。それによって病気の負担を出来る限り減らしていく事が先進的だと思います。

通信欄

会員の皆さまからのお便り・質問等をFAXでお送り下さい。直接回答させていただいたり、ニュース等に掲載させていただきます。送付先：FAX 0422-49-9752 広報の帆足まで。

病児保育室名： _____

お名前： _____

必携

全国病児保育協議会編（帆足英一監修）

「新 病児保育マニュアル」完成

病児保育に従事している保母・看護婦必携の「新 病児保育マニュアル」が完成しました。是非、一人一冊手元においてご活用ください。

病児保育を展開していく上での「保育看護」の専門性をいかに高めればよいか、その具体的な内容が記述されています。

協議会加盟施設の場合

1,500円(+送料)

その他の場合

2,500円(+送料)

申し込みは全国病児保育協議会事務局まで

「子どもの会話コーナー」を連載中!

病児保育室で繰り広げられる子ども達のほほましい光景大募集しています。

<協議会ニュース 編集事務局>

〒180-0003 武蔵野市吉祥寺南町1の19の2
帆足 暁子 宛

FAX 0422-49-9752

E-mail ehoashi@parkcity.ne.jp

6ページからの続き

126 キッズハウスいづか

代表者 森田 潤

〒820-0044

福岡県飯塚市横田 649-10

TEL : 0948-26-6650 FAX : 0948-21-0654

127 医療法人 勝川医院

理事長 鷓飼 正俊

〒486-0914

愛知県春日井市若草通 1 丁目 12 番地

TEL : 0568-31-2308 FAX : 0568-31-7623

128 乳幼児デイケアトロイメライ

代表者 桑折 紀昭

〒798-0040

愛媛県宇和島市中央町 1-10-5

TEL : 0895-24-5633 FAX : 0895-24-4849

129 小林小児科医院

理事長 小林 真弓

〒970-8026

いわき市平字四町目 22-7

TEL : 0246-22-7770 FAX : 0246-24-3707

130 病児保育所はしま

代表者 模 明子

〒710-0043

岡山県倉敷市羽島 199-1

TEL : 086-426-5037

130 医療法人優健会 樋口医院

理事長 樋口 善久

〒843-0301

佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿甲 1740 番地の 1

TEL : 0954-43-1652 FAX : 0954-43-1960

これ以降の加盟施設は次号で

全国病児保育協議会事務局

〒870 - 0943 住所：大分県大分市大字片島 83 - 7 藤本小児病院気付 武内 奈々絵

電話：097-567-0050（代表） F A X：097-568-2970